

令和4年度 矢崎小学校 校内研究概要

1 研究主題

主体的・対話的に学ぶ児童の育成
～児童が選択できる学習方法の実践を通して～

2 主題設定の理由

本校は、昨年度まで2年間府中市よりGIGAスクール研究推進校として指定を受けてきた。一人一台のタブレットパソコン(chromebook)も令和2年9月より先行導入された。学習におけるICTの効果的な活用方法について実技研修会を重ね、実際の授業実践に取り入れて研究を進めてきた。また、昨年度は、主体的・対話的に学ぶ児童の育成についてICT活用を通して行うことを主な研究の中心としてきた。実践を進める中で、ICTを活用すると、感染対策を講じながら児童同士が対話を活発に行う姿や、学習のねらいにそって自ら活動に意欲的に取り組む姿が見られた。しかし、研究の主題である主体的・対話的に学ぶ児童の育成において、必ずしもICTを活用する授業実践ばかりでなくてもよいのではないかという考えにも至った。また、研究方法も実技研修と各ブロックからの実践事例紹介が主だったために、研究協議もICT活用の側面に焦点が当たり、本来の主題についての議論が不十分であった。

そこで、今年度も引き続き主題を「主体的・対話的に学ぶ児童の育成」とした。さらに、主題に迫るために教師主導の授業にならないよう児童が学習方法を選択できる授業設計を行うことを副主題として研究を進めていくこととした。この学習方法には、学習課題、学習計画、表現方法が含まれる。また、教科においても国語科に統一したことで、全学年が授業検討の視点を明確にして協議を深めていきたいと考える。

3 研究仮説

- ・児童の興味をひく魅力的で必然性のある導入を行うことで、問題意識をもち、学習に主体的に取り組むことができるだろう。
- ・問題解決的な学習によって、児童の学び合いが活性化し、「わかった。」「できた。」という実感につなげることができるだろう。

4 目指す児童像

低学年

- ・学びとの出会いにワクワクし、自分の思いをもとに学習方法を選択して取り組む。
- ・他者の考えを聞いて、自分の考えをまとめて伝えようとしている。

中学年

- ・学びとの出会いにワクワクし、自分なりの追究方法を選択して、問題解決ができる。
- ・他者の考えを比べ、考えを広げたり、深めたりしてまとめることができる。

高学年

- ・学びへの意欲をもち、自分なりの追究方法を見付けて、問題解決ができる。
- ・他者の考えを比べ、自分の考えを広げたり、深めたりして新たな考えを生み出している。

5 研究の方法・手だて

○児童が学びとの出会いにワクワクする手だて

【魅力的で必然性のある導入・問題解決型の授業(学習問題、学習計画を立て、学習方法を選択させる)】

○学び合うための手だて

【小集団での考えの交流、ICTの活用、振り返りの充実(次にやりたいこと、学び方)】

学校教育目標

- ◎学ぶ考える力
- 思いやる心
- 明るく元気

【求められる資質・能力】

- ・知識及び技能
- ・思考力、判断力、表現力
- ・学びに向かう力、人間性等

【児童の実態】

- ・分かることやできることが楽しいと感じながら学習を進めることができる。
- ・chromebook を活用して、友達と交流したり表現したりすることができる。
- ・分からないときに、学習の方法を工夫したり、どうしてそうなるのかと理由を考えたりできる児童が少ない。
- ・自分が他人と意見が違うときに、質問をして、自分の考えを積極的に伝えようとする児童が少ない。

【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

研究主題

主体的・対話的に学ぶ児童の育成
～児童が選択できる学習方法の実践を通して～

研究仮説

- ・児童の興味をひく魅力的で必然性のある導入を行うことで問題意識をもち、学習に主体的に取り組むことができるだろう。
- ・問題解決的な学習によって、児童の学び合いが活性化し、「わかった。」「できた。」という実感につなげることができるだろう。

目指す児童像

低学年

- ・学びとの出会いにワクワクし、自分の思いをもとに学習方法を選択して取り組む。
- ・他者の考えを聞いて、自分の考えをまとめて伝えようとしている。

中学年

- ・学びとの出会いにワクワクし、自分なりの追究方法を選択して、問題解決ができる。
- ・他者の考えを比べ、考えを広げたり、深めたりしてまとめることができる。

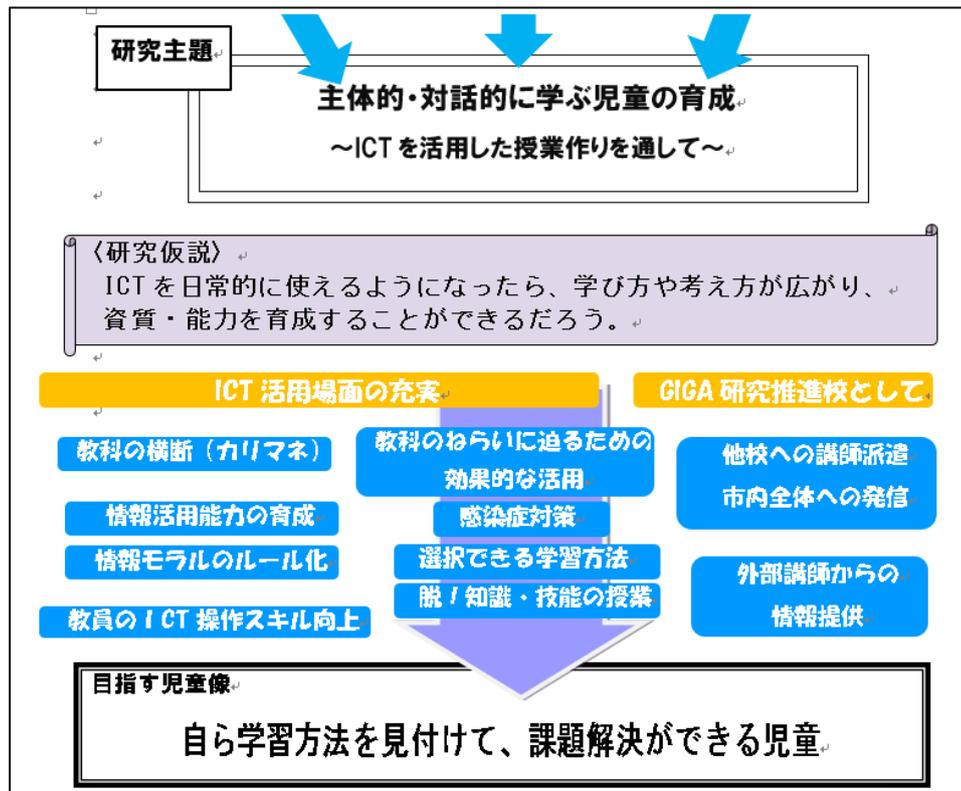
高学年

- ・学びへの意欲をもち、自分なりの追究方法を見つけて、問題解決ができる。
- ・他者の考えを比べ、自分の考えを広げたり、深めたりして新たな考えを生み出している。

研究の内容・手だて

- 児童が学びとの出会いにワクワクする手だて
【魅力的で必然性のある導入・問題解決型の授業（学習問題、学習計画を立て、学習方法を選択させる）】
- 学び合うための手だて
【小集団での考えの交流、ICT の活用、振り返りの充実（次にやりたいこと、学び方）】

1 今年度校内研まとめ



成果

- ・コロナ禍においてもクロームブックの様々なアプリを活用して友達との考えの交流を行うことができた。それにより、普段、考えを表出しにくい児童も、他の児童の考えをもとに考えをもつことができた。
- ・学習計画や課題を自分で立てて、学習方法を児童自身が選ぶことで、意欲的に学習に取り組む姿が見られた。

課題

- ①実践報告形式は、ICT活用や学習方法選択の実践事例にとどまりがちで主題である「主体的・対話的に学ぶ児童」にの協議には至っていなかった。
→具体的な児童の姿を設定して提案する。また、来年度は児童の姿を追えるよう研究方法を授業実践における協議とする。
- ②学習計画、課題の選択はどの学年が相応しいかの検証する必要がある。
→系統立てて提案する。
- ③クロームブックの使用に適した学習材の精査をする必要がある。
→R3年度実践までのクロームブック内のアプリ活用におけるメリット・デメリットと、おすすめ教材を提案する。
- ④教師がしゃべりすぎる授業の価値観を変えていく。
→目指す児童像に迫るためには必ずしも一斉指導、教師主導ではない方がよいと考える。児童が学習材に主体的に向き合うために、必要な支援は施しながら、任せて見守る姿勢も手立てにしていきたい。
- ⑤ねらいからそれてしまったときの軌道修正法について再考する。
→来年度の研究で実践を通して解決方法を見出していく。

2 課題を受けて研推からの提案

課題①

● 主体的に学習に取り組んでいる具体的な児童の姿

- ・課題解決のために、自分のもっている知識や情報を生かしてよりよい方法を見つけている。

研推で出た意見

- ・自分でよりよい方法を見つけている。
- ・問題解決方法を自分のもっている知識や情報を生かして探している。
- ・見通しをもって計画を立てて学習に取り組んでいる。
- ・日常生活や次の学習へつなげている。
- ・学習内容を意識しているいろいろな方法を試している。
- ・課題解決のために、自分で方法を選び指示されることなく、活動をしている。

● 対話的に学習に取り組んでいる具体的な児童の姿

- ・他者の考えを比べ、自分の考えを広げたり深めたりして新たな考えを生み出している。
※対話は、他者との対話以外にも、学習対象、個人内対話も含まれる。

研推で出た意見

- ・自分と異なる考え方や感じ方にふれることにより、自分の考えを広げたり深めたりしている。
- ・互いの考えを比較している。
- ・対話を通じて新たな考えを生み出している。

課題②

1年		2年		3年	
【1・2学期】	【3学期】	【1・2学期】	【3学期】	【1・2学期】	【3学期】
一斉で学習方法を知る		一斉で学習方法を知る		一斉で学習方法を知る	
選択肢を与える		選択肢を与える		選択肢を与える	
自己で選択する		自己で選択する		自己で選択する	
4年		5年		6年	
【1学期】	【2・3学期】	【1学期】	【2・3学期】	【1学期】	【2・3学期】
一斉で学習方法を知る		一斉		一斉	
選択肢を与える		選択肢を与える		選択肢を与える	
自己で選択する		自己で選択する		自己で選択する	

課題③

アプリ (担当者)	メリット	デメリット	おすすめ教材 (学年・単元名・具体的な活用例)
ジャムボード 	<ul style="list-style-type: none"> ・KJ 法として使える。 ・付箋機能は視覚的に分かりやすい。 ・友達へのアドバイスや良いところを付箋で伝えられるので、相互の意見交流が容易。 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋の改行ができないため、見にくいときがある。 ・グループの数に限りがある。 	1年 じどう車くらべ 4年 ふるさと 多摩川探検隊 5・6年 国語・文学的文章・説明的文章の本文を配布。自由に書き込み。 6年 社会 歴史単元の導入 音楽 鑑賞
スライド 	<ul style="list-style-type: none"> ・Power Point とほぼ同じ機能。 ・発表が分かりやすい。 ・考えのまとめを表現する活動に効果的。 ・コメント機能で共同編集がよりスムーズ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れるまで共同作業でのトラブルが起こりやすい。 ・児童同士のコメントの言葉が乱れやすいので、注意する。 ・フォントやアニメーション、背景などにこだわってしまう場合がある。 	2年 生活科 町探検 3年 ふるさと 発表 3年 国語「食べ物のひみつ教えます」 4年 社会 調べ学習 4年 理科 実験 5年 理科 天気・植物・生命 5年 社会
スプレッドシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・Excel とほぼ同じ機能。 ・共同編集により、全員の意見がすぐに一覧で見られる。 ・考えがもてない子の助けになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち込む場所を間違えてしまうなど慣れるまで共同作業でのトラブルが起こりやすい。 ・考えがもてない子の助けにはなるが、毎回活用するパターンにしてしまうと、考えがもてない子は、友達の考えに頼りきりになってしまう。 	2年 道徳 5年 道徳 考えの交流 音楽 鑑賞
フォーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙を使わないアンケート機能なので配布も集計も簡単。 ・他者の考えを見ずに個人の考えを抽出できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択式や漢字変換ができてしまうので、テストとして活用する際は、使用用途に気をつける。 	5年 道徳 導入時の実態調査 音楽 曲あてクイズ
ドキュメント 	<ul style="list-style-type: none"> ・Word とほぼ同じ機能。 ・文章の書き直しが容易。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト入力ができないと、文字入力に時間がかかる。 	5年 国語 要旨や自分の考えのまとめ 6年 卒業文集
Meet 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策の上での話し合いや発表が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多少のタイムラグがある。 ・通信状況によりスムーズにいかないときがある。 	全学年 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内での発表 ・1対全体での発表